



かけはし

225号

2024年7月

ご自由にお持ちください

特集

10年間の献身が生んだ成果 次世代のドクターカーへの更新

リハビリ通信

梅雨のジメジメを吹き飛ばそう!



10年間の献身が生んだ成果 次世代のドクターカーへの更新



クラウドファンディング 挑戦中！



クラウドファンディングとは？
インターネットを通じて活動や夢を発信することで、
想いに共感した人や活動を応援したいと思ってくれる人から資金（寄付）を募る仕組みです。

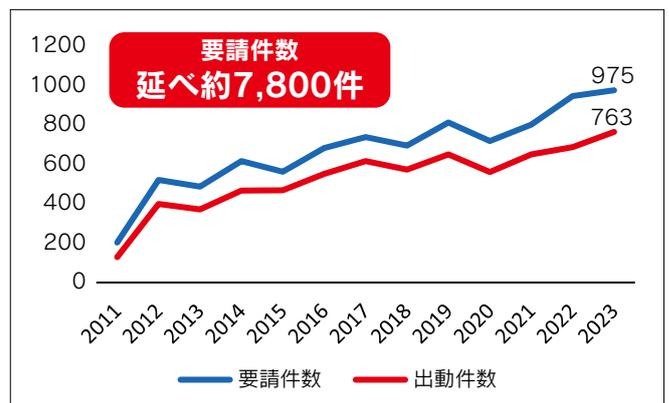
命の最前線を走り抜けるために

当院は、1996年4月に救命救急センターの指定を受けて以降、滋賀県湖南地域（草津市、栗東市、守山市、野洲市）の三次救命救急センターとして、救急集中治療科の医師を中心に、各診療科および各職種のスタッフが丸となって救急医療に取り組んでいます。

2011年9月から、救急医と看護師を病気や事故等の救急現場に派遣する「ドクターカー」の運用を開始し、現在に至るまで約7,800件もの要請がありました（グラフ1）。ドクターカーは救急医と看護師が現場に赴き、その場で治療を行うことができるため、早期医療介入や迅速な根本治療へと繋げることができます。

現在は「救急車型」と「ラピッドカー型」の2台を保有していますが（写真1）、「救急車型」のドクターカーは、購入から約10年が経過しようとしており、走行距離も10万kmに近づいています。緊急走行は通常の走行とは異なり車両に負担がかかるため、毎日の点検に加え過去には大きな修理も行ってきましたが、現場の最前線で命を守る活動を続けるためにも買い替えが急がれる状況です。

しかし、私たちの力だけではこの大きな課題を乗り越えることは難しい状況にあります。そこでこの度、クラウドファンディングに挑戦することにいたしました。



グラフ1.当院ドクターカー件数（2011年～2023年）



｜救急車型ドクターカー（写真左）
いち早く医師や看護師を現場に派遣し、必要時に患者を病院に搬送するための車両

｜ラピッドカー型ドクターカー（写真右）
患者搬送の機能は持ち合わせておらず、いち早く現場に医師や看護師を派遣するための車両

写真1.救急車両型とラピッドカー型の違い

ドクターカーでの救急活動

現在、全国的に救急車の要請から病院搬入までに30分以上かかっている状況下※で、滋賀県の湖南地域（草津市・栗東市・守山市・野洲市）でドクターカーが出動した事案は、要請からおよそ15分以内に患者と接触ができています。また、医師や看護師がドクターカーで現場に赴き、その場で治療を行うことができるため、早期医療介入に繋がっています。

心疾患や脳卒中、重症外傷などの場合は、病院で患者の搬送を待つのではなく、少しでも早く救急医による診療や治療を開始できる方が、生命だけでなくその後の日常生活にも大きく影響します。

現在の運行時間は平日の8時30分から17時までですが、令和5年度には過去最多の年間970件を超える要請がありました。ドクターカーの要請件数も年々増加傾向ですが、どれだけ多忙であっても運休することなく活動しています。

※総務省「令和5年版 救急・救助の現況」5) 救急自動車による現場到着所要時間及び病院収容所要時間



ドクターカーの危機

現在使用しているドクターカーは、購入から約10年が経過しようとしており、走行距離も10万kmに近づいています。毎日点検を行っていますが、緊急走行は通常の走行とは異なり、車両に負担がかかっています。

また、災害対応においては石川県のみならず、熊本県や大阪府での災害にも現在のドクターカー車両を派遣しており、訓練でも四国地方や関東地方に派遣しています。

平成29年7月には緊急走行中に普通自動車に衝突されたことによる大きな修理も経験しています。

このように当院のドクターカーは、多くの使命を果たした結果、老朽化が進み、その機能を十分に果たせなくなってきました。



要請に伴い、現場へ緊急走行している際に交差点内で普通乗用車と衝突。ドクターカーは、交差点内を約20km/hの速度で走行中、左側から走行してきた普通乗用車がドクターカーに気づかず、ドクターカーの助手席側ドアに衝突する事故が発生。修理には3か月間を要し、その間はラビットレスポンスカー※で運行を再開しました。

※ラビットレスポンスカー：患者搬送機能がなく、医師、看護師が同乗し、いち早く救急現場に向かうための車両。

皆さまからのご支援を 必要としています

私たちは地域社会の安全と健康を守る使命を果たすために、皆さまのご支援を必要としています。

クラウドファンディングを通じて、新しいドクターカーの購入を実現し、地域の救急医療体制を強化していきたいと考えています。どうか、この重要なプロジェクトへのご支援をお願い申し上げます。

▼支援サイト



済生会滋賀県病院 レディーフォー



<https://readyfor.jp/projects/saiseikai-shiga>



支援サイト
(外部サイトに移動します)



<本件に関するお問い合わせ>

済生会滋賀県病院 総務課 (月～金9:00～17:00)
TEL: 077-552-1221 (代)

リハビリ通信

梅雨のジメジメを吹き飛ばそう！

リハビリテーション技術科 理学療法士 武田 亜加梨

みなさん、梅雨の季節がやってきましたね。普段は外でウォーキングなどの運動をされている方もこの時期は屋外での運動が雨で難しくなってしまいます。また、梅雨は低気圧配置になるため、私たちの身体は副交感神経優位になってしまいます。副交感神経は身体を休ませる神経ですので、身体がリラクスマードになって「だるい」「眠い」と感じてしまうのです。

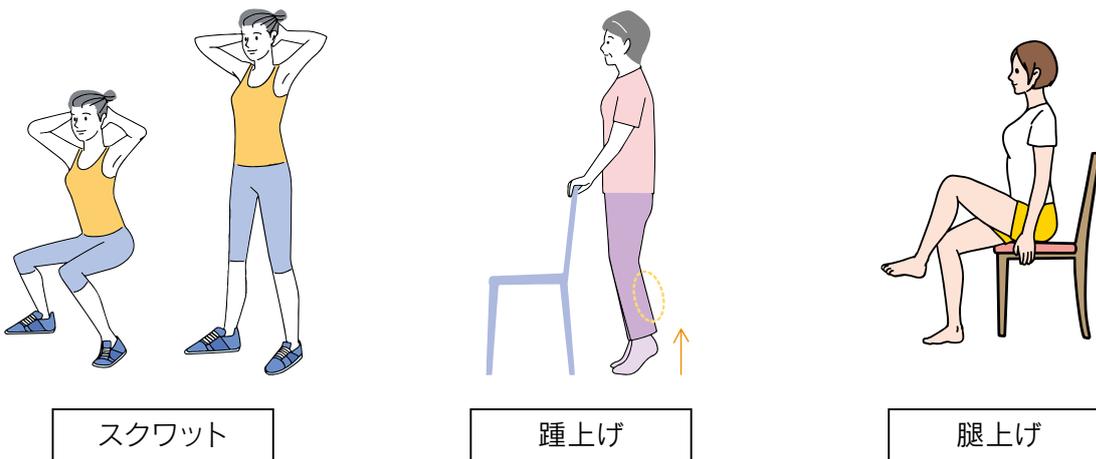
◇梅雨が引き起こす症状

・むくみ ・だるさ ・隠れ脱水 ・胃腸症状 ・低活動による血流低下からくる冷え

活動量が増えると良いことがたくさんあります。身体活動量が多く、運動をしている者は死亡、寝たきり、虚血性心疾患、糖尿病、高血圧、肥満、骨粗鬆症、がんなどのリスクが低く、メンタルヘルスや生活の質の改善に効果をもたらすとされています。

生活習慣病の予防効果は、身体活動量である「身体活動の強さ」×「行った時間」の増加に従って上昇しますが、10分程度の歩行を1日に数回行なう程度でも健康上の効果が期待できるとも言われています。

ですが、「歩行を10分も出来ない」「梅雨の雨で出来ない」という方もいると思います。そこで生活の中で取り組むにはハードルの高い「運動」ですが、次ように室内で出来る簡易な方法から始めるのはいかがでしょうか？



上記の運動は歩行の負荷には及びませんが、自宅で簡単に出来ます。ただ、梅雨の時期は湿度が高く水分補給を怠りがちになり「隠れ脱水」を引き起こすことも。自宅内の運動とはいえ、運動する際には併せて十分な水分補給をしてください。

ぜひ自宅で過ごす時間が多くなる今こそ取り組んで、今年もやってくる暑くて長い夏を乗り越えましょう！

からだを守る医療機器

Vol.7 ペースメーカー

臨床工学科 臨床工学技士 市野 有悟

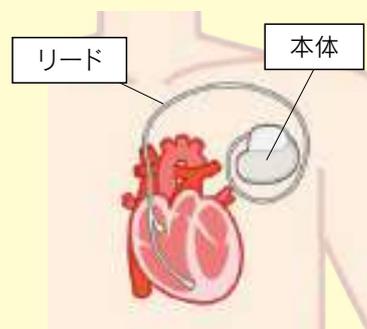
● 『ペースメーカー』って？

心臓の拍動を調整して、正常な心拍数を維持する医療機器です。

心臓の拍動が遅いときに、めまいや息切れ、失神などを引き起こしてしまう場合があります。そういった症状を改善するために、ペースメーカーによって心臓の拍動を適切な速度に保ちます。

● どんな見た目のの？

基本的にはペースメーカー本体と、リードと呼ばれる導線で構成されています。本体には、電池と電気回路が内蔵されており、直径5cm程の円形で重さは20gほどです。リードは、先端部分に電極があり、その部分が心臓の筋肉に接して、電気刺激を伝えることで心臓を動かします。そして本体とリードは手術によって体内（胸部や腹部）に植え込まれます。



● 日常生活について

買い物や旅行、ジョギング、ゴルフなど、屋外に出かける事に消極的になるかもしれませんが、実際にはペースメーカーによりめまいなどの症状が消失、または軽快が見込まれるので、健常時のような日常生活を送る事ができます。



● ペースメーカー植え込み後の注意

ペースメーカーは心臓内の電気を感知するので、電磁波を発するものに注意が必要です。ただ、冷蔵庫や電子レンジなどの生活電化製品は、基本的に問題はないとされています。

携帯電話はペースメーカー本体から15cmほど離しての使用が望ましいですが、これは安全のために余裕をもった数値です。そのため携帯電話の使用時に、周囲にペースメーカーを植え込んでいる方がいても影響はありません。

ペースメーカー植え込み後、ペースメーカーが正常に作動しているか、電池の消耗具合やリードに異常がないかなどを調べるために医師・臨床工学技士が定期的に検査を行います。定期検査は数ヶ月ごとに外来で行っています。



CEの
一言メモ

ご意見にお答えします



当院では、ご意見箱を通してみなさんの声を聞き、苦情等の全体を把握するとともに、今後の事業改善に活かしています。

【ご意見】

診察前の待ち合いでの呼びだしは、名前ではなく番号か記号などを使つての案内にして欲しい。

【回答】

患者さんの呼称につきましては、現在のお名前呼び出しから番号呼び出しへの完全切り替えを前向きに検討しております。呼称変更にあたっては、機器導入や運用変更、患者さんへのアナウンスなど様々な準備が必要となりますので、今しばらくお時間をいただきたく存じます。ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、ご希望の患者さんには個別に番号呼び出しも可能です。窓口までお申し出いただきますようお願いいたします。

Topics

看護の日のイベントを開催しました！

皆さんは看護の日をご存じですか？

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、毎年5月12日を「看護の日」、その日を含む1週間は「看護週間」とされています。今年度、済生会滋賀県病院では、「つよい絆でやさしい看護」をテーマに看護の日のイベントを開催しました。

「看護メッセージ」の展示イベントでは、様々な看護師に「つよい絆でやさしい看護」から思う自分の看護を言葉にしてもらいました。「笑顔で」「寄り添う看護」「人のつながりを大事に」など、当院に来られる皆さんに信頼と安心の看護をお届けしたいという思いがたくさんありました。

また、認定看護師による認知症予防、嚥下、感染症予防などに関するミニ講座を行いました。ご参加くださった皆さんから、「日常的に役立つ」「わかりやすくて良かった」など多くの感想をい

いただきました。これからの生活の中で、少しでもお役に立つことができればとても嬉しく思います。貴重なご意見・ご感想をいただき、ありがとうございました。

これからも、皆さんの心に「信頼と安心の看護」が届くように、看護部一同努力していきたいと思ひます。



令和6年度 糖尿病教室のお知らせ

参加無料
申込必須

糖尿病についてなるべくご理解いただけるよう、わかりやすく、時には楽しくお話しいたします。この教室がひとつのきっかけかもしれません。ぜひご家族、ご友人などでお気軽にご参加ください。



開催時間・場所

【開催時間】

各日程 午後2時00分～
午後3時30分

【開催場所】

当院10階
健診センターラウンジ

参加申込み・お問い合わせ

TEL：077-552-1221(代)
担当：糖尿病療養指導チーム

日程	テーマ	担当者
2024年 8月6日 (火)	糖尿病とはどんな病気？	医師 犬塚 恵
	糖尿病と動脈硬化の深～い関係	臨床検査技師 古谷 善澄
9月17日 (火)	糖尿病の合併症 ～急性合併症・慢性合併症～	看護師 二階堂 翔太
	糖尿病のお薬とのつきあい方	薬剤師 中村 久徳

乳がん患者さんへ 乳がんの講演会と集いのお知らせ

当院乳腺外科医が協力医としてサポートしている乳がん患者会「あけぼの滋賀」主催にて、乳がん講演会を開催いたします。

乳がんと告知され、ひとりでは抱えきれない不安や悲しみ、疑問や身体のだらさりと向き合う時、同じ体験をしている乳がん患者さんと出会い、正しい情報を得て乳がんに向き合う日々の「ちから」にしてみませんか。ご参加お待ちしております。

申込み・お問い合わせ

あけぼの滋賀（乳がん患者会）

TEL：090-6201-1725（菊井）

TEL：070-5500-0308（藤田）

Mail：akebono.shiga@gmail.com



▲あけぼの滋賀

乳がん治療の講演会

1部 講演「①乳がんの基礎・②遺伝子診断」

講師：大内佳美医師

（済生会滋賀県病院乳腺センター長）

2部 医療者を交えた少人数の相談会

再発、転移・治療薬・リンパ浮腫 他

【日時】7月26日（金）14時～16時（受付13時30分～）

【会場】済生会守山市民病院 新館1階くすの木ホール
（守山市守山4丁目14-1）

【定員】40名

【参加】無料

【申込】必要。左記へお申し込みください

※交通：JR守山駅西口より

バスで約10分、徒歩20分



当院では無料低額診療事業を実施しています

詳細は当院ホームページをご確認ください。



▲HPはこちら



**参加無料
申込不要**

会場 済生会滋賀県病院 地上ヘリポート

※マスクの着用にご協力ください。
 ※雨天決行
 ※見学时にドクターヘリの出動要請があった場合は、ドクターカーの見学に切替えさせていただきます。
 ※ボランティア行事保険に加入のため、当日は受付にてお名前、ご連絡先のご記入をお願いします。

ドクターヘリ見学会 開催!
毎月第3土曜日 10:00-12:00

ドクターヘリ見学会は毎月第3土曜日に開催しています。
 皆さんお誘い合わせの上、是非ご参加ください。

お問合せは滋賀県医療政策課医療整備係まで
 ☎ **077-528-3625**



まちの診療所紹介

かかりつけ医をもちましょう

「かかりつけ医」は患者さんやご家族が、身近に日常的な治療及び健康管理について相談できるお医者さんです。体調の変化で気になることを気軽に相談できる関係性を築くことで、病気の早期発見や予防につながります。自宅や職場の近くにかかりつけ医をもつていただくことをお勧めします。



滋賀県大津市栗津町3番2号302
 JR石山駅NKビル3階
 TEL.077-572-5666
 JR石山駅・京阪石山駅直結
 提携駐車場あり「駅前グランド駐車場」

【診療科目】

小児科

【診療時間】

〈午前診〉 9:00～12:00
 〈午後診〉 14:00～16:00
 〈夜診〉 16:30～19:00

【休診日】

木曜、土曜午後、日曜、祝日



▲HPはこちら

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前診	○	○	○	/	○	○
午後診	○	○	○	/	○	/
夜診	○	○	○	/	○	/

大津市

2024年6月1日開院

いしやま駅前こどもクリニック

院長 立花 佳代 先生

本院が目指すのは、お子さまとそのご家族がどんな小さな悩みでも安心して相談できるクリニックになることです。お子さまの健康は、お子さまとご家族の笑顔や元気に直結しています。だからこそ、私たちは一人ひとりに真剣に向き合い、ご来院後は安心して帰っていただけるようにスタッフ一同努めます。

感染症を含めたお子さんの疾患全般についてはもちろん、とくに取り組んでいるのが低身長や肥満など、身長、体重に関すること、また身体的な症状が長引くお子さんに対する治療です。ご質問やお悩みがあれば、気軽に相談ください。

<診療内容>

小児科、小児の感染症、アレルギー、低身長・肥満、思春期早発症、起立性低血圧、便秘、予防接種、4か月健診・発達・育児相談



病院理念

私たちは、済生会の「救療済生」の精神に基づき、安全で質の高い医療の提供と、心温まるサービスを実践し、地域の皆様の安心と幸せな未来へ貢献します。

かけはしNo.225 2024年7月

発行元 社会福祉法人 滋賀県済生会 済生会滋賀県病院

〒520-3046 滋賀県栗東市大橋二丁目4番1号

TEL (077) 552-1221 (代) URL <https://www.saiseikai-shiga.jp/>